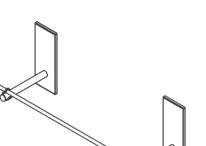
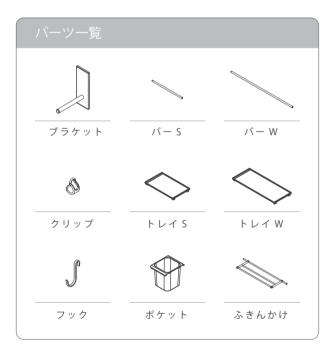


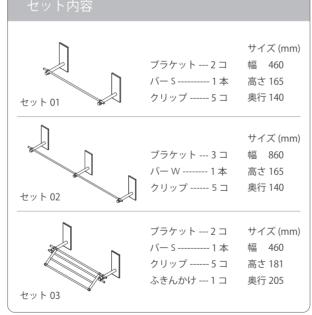
この度は、Cucurie をお買い上げ頂き、ありがとうございました。 で使用の前にこの取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてお使いください。



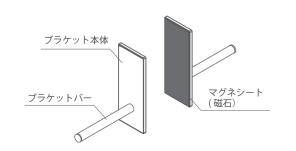
♠ 注意

- *ガスコンロに近い場所に取り付けますと、火災や事故などの原因となります。 収納物も含め 150mm 以上離れた位置へ取り付けてください。
- *耐荷重は目安です。壁面の状態や荷重の掛かり方によっては外れる場合があります。 物を載せる前に手をそえて、落ちない事を確認してからご使用ください。
- *収納物は均等に荷重が掛かるようにし、片寄った状態での使用は避けてください。
- *ブラケット(磁石)を電子機器、磁気記録媒体などに近付けないでください。 正常な動作が妨げられたり、故障したりする可能性があります。
- *取り付けがゆるんだりぐらつくときは使用を中止してください。
- *製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
- ・耐荷重以上の荷重をかける。 ・分解や改造。
- ・本体に強い衝撃を与える。
- 用途以外の使用

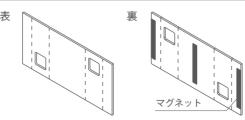




ブラケット詳細



取付ガイド



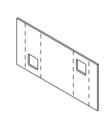
※「取付ガイド」は、**ブラケットの箱の中に入っている段ボール**です。 折れ曲がりや反りをのばしてからご使用ください。

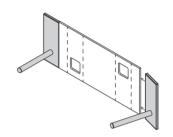
①本品を取り付ける前に、 ②本品を取り付けたい位置に 壁面の汚れを 拭き取ってください。

「取付ガイド」を水平に なるように固定してください。

③「取付ガイド」左右の端に ブラケットの側面を沿わせて、位置を あわせてから壁面に吸着させてください。



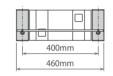


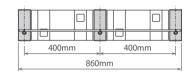




※本品を壁面に取り付ける際に、手指を挟まないようにご注意ください。

↑ バーWを取り付ける際は、必ずブラケットを 3つ使用し、ブラケットの中心位置 400mm 幅 以下の間隔でブラケットを取り付けてください。





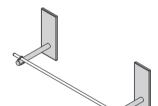
バーにクリップを通してください。

②バーをブラケットバーの上にのせ クリップをはめてください。

ペノ パチッ

③「取付ガイド」を 外してご使用ください。





※外した「取付ガイド」は、大切に保管してください。

↑ 取外しについて

※本品を移動させるときは、一度すべてをブラケットから取り外してください。 組み立てた状態や、物を載せた状態で移動させると、落下や破損の原因となります。

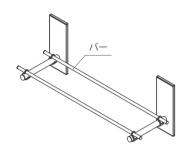
※ブラケットを壁面から外すときは、ブラケットバーを持ち、 横へ傾けるように倒して外してください。

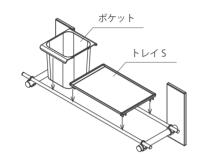


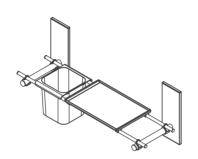


①「2. バーの取付け」を参考に バーを2本取り付けてください。 ②ポケットやトレイの溝にあうよう バーの間隔を調整しながら はめ込みます。

③お好みのパーツを 自由に組み合わせてください。

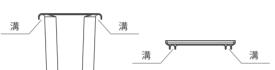




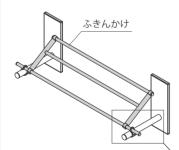


↑ トレイやポケットを使用する場合は、 バーが 2 本必要です。トレイとポケットには、 バーに引っ掛けるための溝があります。

バーの間隔を溝にあうように調整して取り付けてください。

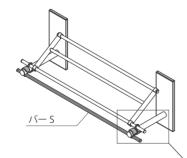


①ふきんかけを図のように ブラケットバーの上に載せて、 クリップで取り付けてください。



介 ふきんを強くひっぱったり、 掛けた状態で使用するなど、 本品に無理な力を加えると、 無理な力を加えないよう ご注意ください。

②バーをブラケットバーの下側に クリップで取り付けてください。



③ふきんかけを手前に倒し、

ふきんをかけてご使用ください。

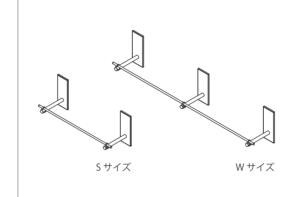
※使わないときは②の状態で畳んでおけます。

ふきんかけ 落下や破損の原因となります。

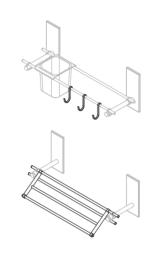
■バーの位置関係

■バーの位置関係

↑ 耐荷重について







一部でも、「吊るす」場合は 総耐荷重: 1.5 kg まで

ふきんかけ部分は 600g まで ※ふきんかけ上部にトレイなどを付ける場合は ふきんも含めて 2.0kg までとなります。

↑ 取り付け箇所のスチールの種類や状態により保持できる総重量は異なります。 上記は、「マグピタボード」での値です。

お手入れについて

- *お手入れの際は、パーツを壁面から外し、水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って拭いてください。
- *汚れがある場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ったあと、水拭きし、最後に乾拭きしてください。
- *酸性及びアルカリ性の食材及び調味料の使用はなるべく避け、使用した場合はすぐに洗浄してください。
- *丸洗いした場合、水分は充分拭き取り、よく乾燥させてから使用してください。
- ↑ 下記のものは、お手入れに使用しないでください。

 - ・酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・シンナーなどの有機溶剤
- ・研磨剤入りのスポンジ、たわし、ブラシ

点検について

- ※定期的に点検を行い、ゆるみ、ぐらつき、破損、その他異常がないか確認してください。
- ※本品の取付けがゆるんだりぐらつくときは、すぐに使用を中止してください。
- ※クリップは無理な力をかけると、白化やひび割れすることがあります。
- ※破損したクリップは使用せず、新しいクリップを使用してください。